

国語科学習指導（案）

読解力を鍛える～『日本語をコンピューターで書き表す』（教出小六上）～

平成24年4月9日（月）10時35分～11時20分

2階図工室，6年児童40名，指導者 柳谷直明

- 1 **指導目標** 読解（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ各教科等で活用できるようにする。
- 2 **指導事項** 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（「学習用語」，以下「学習用語」に網を掛ける。）
 - **言語活動1 漢字の読み書き**
 - (1) 音読み，訓読み，読みテストを習得させる。
 - (2) 唱え，筆順，掌（てのひら）書き，空（そら）書き，書きテストを習得させる。
 - **言語活動2 リライト**
簡潔，改行，断定文末，句切り符号・漢字使用を習得させる。
 - **言語活動3 「授業作文」**
常体，句読点，改行段落，学び，意見を習得させ，活用させる。
- 3 **本時の展開（1/4）。指導事項の時間配分。**

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き (1) 読みテスト。 (2) 書きテスト。 割り算，名前を呼ぶ，養蚕，簡単。	1 漢字の読み書き 1日4つの新出漢字指導が適当である。 (1) 読み。割り算，役割，割れる～簡単。 (2) 書き。掌書き，空書きで練習させ，4つでテスト。 〈唱え方〉分割の割（わり），呼吸の呼ぶ，養蚕の蚕（かいこ），簡単な簡（かん）。	・教科書巻末104ページでさせる。 ・自学の方法でもある。 ・15分間で新出漢字4つのテスト終了を目指す。 ・個，隣，集団の形態で思考を深めさせる。
20分	2 リライト 文字（漢字，仮名，ローマ字，句切り符号等），単語，複合語，言葉，文，文章の違いを知る。読みやすい文や文章の条件が有るのを知る。 1文を2文に。鉤を付ける。一字下げ。文末削除。 「さくらのきにはながさきました。」は「表現したいこと」ではない。なぜから，～だからである。批評を書く。意味の繋がりに合った文字を選択していると知る。	2 リライト 説明文（文種）の構成「序論・本論・結論」に分けさせる。 34ページをリライトさせる。 読み易い文章の条件例 1 簡潔。2 断定文末。3 句切り符号・漢字使用。4 改行。 1 簡潔方法例 接続助詞の削除。「よう」の削除。「こと」の削除。 2 改行方法例 改行段落の作成，鉤の使用。 3 断定文末の方ほ例 「思う」の削除。 4 漢字使用の方法例 達，方等の使用。	・本時での学びを書かせる「授業作文」(言語活動)である。
10分	3 「授業作文」 口頭作文，文字作文を行う。「学習用語」を使用する。作文を称賛し合う。	3 「授業作文」 本時での学びを隣にインタビューさせる。「学習用語」の使用で評価させる。称賛させ合いながら，隣同士で発表させる。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

全員に新出漢字習得，リライト記述，授業作文記述を保障した。人間の脳のすばらしさを知らせた。

国語科学習指導（案）

読解力を鍛える～『日本語をコンピューターで書き表す』（教出小六上）～

平成24年4月10日（火）10時35分～11時20分

2階図工室，6年児童40名，指導者 柳谷直明

- 1 指導目標 読解（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ各教科等で活用できるようにする。
- 2 指導事項 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（「学習用語」，以下「学習用語」に網を掛ける。）
 - 言語活動1 漢字の読み書き 音読み，訓読み，読みテスト，唱え，筆順，掌書き，空書き，書きテストを習得させる。
 - 言語活動2 読解 説明文，文種，構成，序論・本論・結論，変換，言葉，判断，比較，同義予告，読み方，意味，接続語，順接，逆説，リライト，肯定，否定，簡潔，文脈，単語，指示語を習得させる。
 - 言語活動3 「授業作文」 常体，句読点，改行段落，学び，意見を習得させ，活用させる。
- 3 本時の展開（2/4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き 読みテスト。書きテスト。 歌詞，従う，創造，親孝行。	1 漢字の読み書き 読み。掌書き，空書きで練習させ，テスト。 〈唱え方〉歌詞の詞（し），従うの従（じゅう）， 創造の創（そう），親孝行の孝（こう）。	・ 巻末 104 ページ。 ・ 自学の方法 でもある。15分 間で新出 漢字4つ のテスト 終了。
25分	2 読解 序論，本論，結論の構成。 なぜ，古いコンピューター は正しい変換ができなかった のか。なぜなら，コンピ ューターは言葉のつながりが 判断できないからである。 足跡とは，足跡である。 本論1 転換 文字コード，読み方，単語 での変換へと変遷してきた。 「その」は「同じ読み方の 単語の」を差す指示語。 コンピューターは選択肢 の記憶しかできない。文脈に 適した単語の選択は今のと ころ人間にしかできない。 「言葉のまとまり」で「意 味のつながり」ができる。	2 読解 説明文（文種）の構成「序論・本論・結論」 に分けさせる。 （1）序論 ある。ない。の比較。「表現したいこと」との 同義の7字。→「意味のつながり」 （2）本論 ① 本論の予告 ② 文字コードでの漢字変換 ③ 読み方での変換 ④ 単語での漢字変換 ⑤ 単語での漢字変換の記憶量 ⑥ 意味の結び付きでの漢字変換 接続語使用の練習 順接 雨が降る。（ ）傘を差す。 逆接 雨が降る。（ ）傘を差さない。 リライト 「能率がよいとはいえない。」肯定 の否定→「能率が悪い。」否定，簡潔	・ なぜなら， ～。この 文型で理 由を書か せる。 ・ 本論をい くつかの 大段落に 分けさせ る。 ・ 「授業作 文」でま とめさせ る。 ・ 「学習用 語」使用 で評価。
5分	3 「授業作文」 「学習用語」を使用する。	3 「授業作文」 本時での学びを「授業作文」に書き，覚える。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

全員に新出漢字習得，読解記述，授業作文記述を保障したか。人間の脳のすばらしさを知らせたか。

国語科学習指導（案）

読解力を鍛える～『日本語をコンピューターで書き表す』（教出小六上）～

平成24年4月11日（水）13時25分～14時10分

2階図工室，6年児童40名，指導者 柳谷直明

- 1 指導目標 読解（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ各教科等で活用できるようにする。
- 2 指導事項 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（「学習用語」，以下「学習用語」に網を掛ける。）
 - 言語活動1 漢字の読み書き 音読み，訓読み，読みテスト，唱え，筆順，掌書き，空書き，書きテスト，助詞，名詞を習得させる。
 - 言語活動2 読解 変換，言葉，判断，読み方，単語，接続語，順接，逆接，リライト，肯定，否定，簡潔，数字を習得させる。
 - 言語活動3 「授業作文」 常体，句読点，改行段落，学び，意見を習得させ，活用させる。
- 3 本時の展開（3／4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き 読みテスト。書きテスト。 貴族，聖火，経済，誤解。	1 漢字の読み書き 読み。掌書き，空書きで練習させ，テスト。 〈唱え方〉貴族の貴（き），聖火の聖（せい）， 経済の済（ざい），誤解の誤（ご）。	・ 巻末 104 ページ。 ・ 自学の方 法でもあ る。15分 間で新出 漢字4つ のテスト 終了。
25分	2 読解 なぜ，古いコンピューター は正しい変換ができなかつ たのか。なぜなら，コンピ ューターは言葉のつながりが 判断できないからである。 文字コード，読み方，単語 での変換へと変遷してきた。 「その」は「同じ読み方の 単語の」を差す指示語。 コンピューターは選択肢 の記憶しかできない。文脈に 適した単語の選択は今のと ころ人間にしかできない。 よく使う単語が最初に出 てくるような工夫。 文の中でどの言葉をどの ような漢字に変えるか。 学校＋へ	2 読解 接続語使用の練習 順接 雨が降る。（ ）傘を差す。 逆接 雨が降る。（ ）傘を差さない。 リライト 「能率がよいとはいえない。」肯定 の否定→「能率が悪い。」否定，簡潔。 「なぜ」と問われたら，「なぜなら」と答える。 変換の足跡を辿る。 ① 文字コード，② 読み方 37ページ，どうすればよいとあるか。 なぜ，「単語」を記憶させておけばよいのか。 なぜなら，読み方での変換だけだと漢字を一つ ずつ直さなければならないから。 ③ 単語の読み方での変換 数字の変遷。2千→4千→5万→10万。 更なる工夫は何か。 何を人間が決めなくてはいけないか。 助詞は名詞に付く。	・ かならず， ～。この 文型で理 由を書か せる。 ・ 本論をい くつかの 大段落に 分けさせ る。 ・ 「授業作 文」でま とめさせ る。 ・ 「学習用 語」使用 で評価。
5分	3 「授業作文」 「学習用語」を使用する。	3 「授業作文」 本時での学びを「授業作文」に書き，覚える。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

全員に新出漢字習得，読解記述，授業作文記述を保障したか。人間の脳のすばらしさを知らせたか。

国語科学習指導（案）

読解力を鍛える～『日本語をコンピューターで書き表す』（教出小六上）～

平成24年4月12日（月）9時30分～10時15分

2階図工室，6年児童40名，指導者 柳谷直明

- 1 指導目標 読解（言語活動）を通して「学習用語」を習得させ各教科等で活用できるようにする。
- 2 指導事項 本時での言語活動を上達させる具体的な指導事項（「学習用語」，以下「学習用語」に網を掛ける。）
 - 言語活動1 漢字の読み書き 音読み，訓読み，読みテスト，唱え，筆順，掌書き，空書き，書きテストを習得させる。
 - 言語活動2 読解 意味，言葉，誤変換，物場，場所，動詞，書き抜く，意味，同義，内容，何，筆者を習得させる。
 - 言語活動3 「授業作文」 常体，句読点，改行段落，学び，意見を習得させ，活用させる。
- 3 本時の展開（4／4）。指導事項の時間配分。

時配	学習活動	教師の働きかけ	備考
15分	1 漢字の読み書き 読みテスト。書きテスト。 鉄骨，砂糖，秘密，縦横。	1 漢字の読み書き 読み。掌書き，空書きで練習させ，テスト。 〈唱え方〉鉄骨の骨（こつ），砂糖の砂（さ）と砂糖の糖（とう），秘密の秘（ひ）と秘密の密（み） つ），縦横の縦（たて）。	・巻末103，104ページ。 ・自学の方法でもある。15分間で新出漢字4つのテスト終了。 ・「学習用語」使用で評価。 ・圧縮の縮（しゅく），分担の担（たん），一覧の覧（らん），熟語の熟（じゅく）を次時まで学習させ，次時で市販テスト。
25分	2 読解 意味のうえで結び付きやすい言葉をコンピューターに記憶させる方法を考えた。 夏や気温→暑い 湯やスープ→熱い 本や板→厚い 人+物+どうする →割る，切る，打つ。 人+場所+どうする →行く，帰る，乗る。 人+物+場所+どうする →運ぶ，移す，積み上げる。 「たくさん言葉や文の特徴」，『花』と『咲く』，『夏』と『暑い』はよく一緒に使われるというようなこと 「表現したいこと」を持っていない。 わたしたちが～せること。	2 読解 誤変換を解決するため，どのような方法が考えられたか。 なぜ，読み難いのか。なぜなら，一文が長いからである。 文の型1は物をどうする。 文の型2は場所をどうする。 文の型3は物を場所にどうする。 各「どうする」になり易い動詞を記憶させる仕組みにしてある。 的確に意味をなすまとまりを取り出せた。 結論「このように」～。 コンピューターは何を記憶しているか。四角で困む。2つある。正しく書き抜く。 意味が分からないと同義は何か。 コンピューターには，何が難しいのか。 共同作業で人間が分担すべき内容は何であると筆者が述べているか。	
5分	3 「授業作文」 「学習用語」を使用する。	3 「授業作文」 本時での学びを「授業作文」に書き，覚える。	

4 本時の評価。授業の成否を判定するポイントや反省観点。

全員に新出漢字習得，読解記述，授業作文記述を保障したか。人間の脳のすばらしさを知らせたか。